

会議	第1回 坂井市行政改革推進協議会	記録	
日時	令和6年7月16日 (火) 午前10:00～	事務局	財政課 高倉課長
場所	坂井市役所 災害対策本部室		
出席委員	桑原会長、赤土委員、半澤委員、伊藤委員、小林委員、関委員、吉田委員、中垣内委員、石森委員		
欠席委員	久中委員		
事務局	新開副市長、小川財務部長、奥出総務部次長、高倉財務部次長兼財政課長、野路行政改革参与、財政課福田課長補佐、同課近間課長補佐、同課阪本課長補佐、同課白崎主査		
資料	<p>【資料1、2】 坂井市行政改革推進協議会の設置目的と役割について</p> <p>【資料3】 坂井市の予算について</p> <p>【資料4】 坂井市行政改革の取り組み状況について</p> <p>【資料5】 今後の坂井市の行政改革について</p>		

I 開 会	1 開会	(財政課長)	<p>只今から、坂井市行政改革推進協議会を開催いたします。</p> <p>本日、会議の進行を務めます、財政課、高倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。</p> <p>なお、委員の久中 利朗様におかれましては、本日ご都合により欠席の連絡を頂いておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>では、会議次第に従いまして進行させていただきます。</p>
	2 委員委嘱	(財政課長)	<p>初めに、委員委嘱を行います。この度、坂井市行政改革推進協議会委員に、市長から委嘱させて頂く方は10名でございます。</p> <p>池田坂井市長が、委員の皆様の前へ参りますので、ご起立にて委嘱状お受け取りいただき、その後、着座いただきたいと存じます。</p>
		(市長)	<p>委嘱状。桑原 美香 殿。坂井市行政改革推進協議会委員を委嘱します。委嘱期限、令和8年3月31日。</p> <p>令和6年7月16日、坂井市長 池田 禎孝。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p><委嘱状交付></p> <p>※桑原委員 → 赤土委員 → ……石森委員の順に委嘱状交付。</p>
	(財政課長)	<p>ありがとうございました。</p>	
3 会長選出	(財政課長)	<p>続きまして、会長の選出でございます。資料1の「坂井市行政改革推進協議会設置要綱」をご覧いただきたいと存じます。</p> <p>この協議会の会長職につきましては、要綱第5条の規定により、「会長は学識経験者をもって充てる」となっておりますことから、福井県立大学教授の桑原美香様に会長をお願いしたいと存じます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>	
4 諮問	(財政課長)	<p>続きまして、池田市長から行政改革推進協議会へ諮問を行います。</p> <p>桑原会長、恐縮ですが前の方へお願いいたします。</p> <p><諮問書を桑原会長へ></p>	
(市長)			

I 開 会	5 市長あいさ つ	(市長)	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>行政改革推進協議会の委員の委嘱状を皆様に渡させていただきました。</p> <p>そして日頃から皆様には行政各般にわたりましてご協力いただいておりますことを、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>加えて今年は坂井市の総合計画審議会も同時並行で進めておりまして、そちらの方の委員にもなっただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>行政改革でございますが、これまで10年、20年と続けて来たわけでございます。どちらかという今までの行革はスリム化といいますか、職員定数の抑制といいますか、是正削減も含めて、そういうような形の行革が多かったと思います。これは坂井市のみならず、他の自治体もそんなところを意識してきたわけでございます。</p> <p>時代も大分変わってきました目線は、どちらかという、前向きな行革にシフトをして来ているんだろうと思います。</p> <p>具体的に言いますと、例えば組織体制の充実或いは人材の育成ですとか、或いは最近で言いますとDXを取り入れて、日進月歩でいろんなDX化、ICT化が進んでおりますので、そういった目線も必要だと思っております。</p> <p>加えて、行政のみならず、いろんな団体或いは市民との協働というところが必要かなと思っております。</p> <p>そんなところを今回の行革の柱としていきたいと思っております。</p> <p>加えて、これは総合計画審議会でも議論いただいておりますが、まさに市民とのウェルビーイングの目線、市民のウェルビーイングの目線、こういったところが行革にもおそらく大事な目線だというふうに思っております。</p> <p>行革を進めることによって、市民の幸せにいかにつなげていけるのかというところがポイントではなかろうかと思っております。</p> <p>我々行政の役割としましては、組織の中で縦割りを是正しつつ、チーム一丸となっていろんな課題に解決していくということですね。庁内組織としましては行革の推進本部を立ち上げまして、副市長が本部長になっておりますけれども、そんなところをこれまで以上に議論を深めながら、並行して推進本部も開催していきたいなと思っております。</p> <p>そういう事柄で、なかなか行革と市民目線でどんなことが意見として出るのかって難しく考えていただかなくても結構かなと思います。色んな行政の中の、仕事のやり方をご質問いただいて、もう少しこういうふうにした方がいいんじゃないかとか、ざっくばらんにご質問なりご意見をいただければ、我々としても改善につなげていけるんだろうなというふうに思っております。スケジュール的には非常にタイトになりますが、資料の方もコンパクトにしつつ、皆様のご意見を幅広く取り入れて、作っていきたいなと思っておりますので、是非ともご協力をよろしくお願い申し上げます。</p>
-------------	--------------	------	--

		(財政課長)	池田市長ですが、所用につきここで退席とさせていただきます。
II 協 議 事 項 等		(財政課長)	<p>それでは、協議事項等に移ります。桑原会長、恐縮ですが席の移動をお願いいたします。</p> <p><会長移動></p> <p>初めに、桑原会長よりご挨拶を頂きたいと存じます。</p>
	1.会長あいさつ	(桑原会長)	<p>皆様おはようございます。</p> <p>いろんな委員会でお会いさせていただいた委員の皆様もいらっしゃるかと思いますが、こちらの会に関しましては、市の中の行政改革ということで、どんどん時代も変わっていますし、うちの学生なんかを見ても本当にトレンドが変わっているなというふうに思っております。悲観的な意味ももちろんちょっとあるんですけども、でも、彼らの柔軟性であるとか、自分のプラスになることだけではないところすごく一生懸命やってる姿を見ていると、坂井市の中でもいろんな、学生がお世話になっているというふうに伺っておりますけれども、そうやって、何かまちのためにやりたいと言う人も増えてるのかなという、ちょっとこうプラスなイメージはあるかと思います。</p> <p>昨今、公務員の志願者がちょっと減ってはいるんですけども、まちの人が、まちのことをやりたいなという人が増えているけれども、ちょっとここ追い風になるのかなと思いますし、いろんなツールを使って、これからの市役所というものも変わって行くのかなというふうに思っております。</p> <p>市長も先ほどおっしゃっておられましたけれども、皆様の現場というか生活の中で感じておられるいろんな疑問であるとか、お仕事の中で、自分たちはこういうふうに変わって来たよ、というようなお話をぜひお聞かせいただければというふうに思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
	2.委員及び事務局の紹介	(委員、事務局)	<順番に自己紹介>
	3.坂井市行政改革推進協議会の設置目的と役割について	(財政課長)	【資料1、2】に基づき説明
		(財政課長)	それでは本日の協議等に移ります。会議の進行につきましては、設置要綱第6条に基づき、会長に議長をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。
4.坂井市の予算について	(桑原会長)	<p>それでは早速協議に入っていきたいと思います。</p> <p>坂井市の予算について、事務局からご説明のほどよろしく願いいたします。</p>	
	(事務局)	【資料3】に基づき、坂井市予算、人口推移について説明	
	(桑原会長)	ありがとうございました。それでは、只今のご説明に関しまして、委	

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(桑原会長)	員の皆様からの質問またはご意見等ございましたらお伺いしたいと思 います。いかがでしょうか。
		(委員)	<p>今年、5つのポイントで予算化しているということですが、自然災害 対応を充実させるということが記載されていますが、これは具体的にど ういったことを予算化されているのかをお聞きしたいです。まず、ソフ ト面なのかハード面なのかということで、ちょっと聞かせていただきた いと思います。</p> <p>また、中学校でも避難所ということでクーラーを整備するという話も 聞いておりますし、その他にどういった具体的なことをされる予定なの かを教えていただきたいなと思います。</p>
		(事務局)	<p>まず自然災害への対応ということで、予算ですけれども、新たに備蓄 品の整備を計画しております。アルミブランケットですとか、空気電池 などの整備を予定しております。</p> <p>また、予算は直接あまり関係ないのかもしれませんが、避難訓練など の内容の充実などを考えております。</p>
		(副市長)	<p>若干補足させていただきます。</p> <p>今年の1月1日の能登半島地震の影響も教訓にいたしまして、4月 早々全戸配布をいたしました防災ハンドブック、各ご家庭に配布をさせ ていただきました。直近の防災に向けた色々ご家庭で、活用いただける ような情報を整理しまして、早速配布させていただいた点と、それから、 津波、特に三国地区は今回、津波避難警報、指示、すぐ出ましたので、 そういったことを反映させたハザードマップを直近で最新版に整備さ せていただいたものを配布させていただいています。特に三国地区は全 戸配布、その他公共施設、事業所等にも配布するといったような対応を させていただきました。</p> <p>また、その時に各避難所になっています小学校、或いはコミュニテ ィセンターへ地区の方がすぐ避難をしていただいたわけですが、寒い中で 避難所の鍵がどこにあるかすぐ分からないといったような、連絡が上手 くいかなかったといったようなことも反省しまして、職員を各避難所の コミュニティセンター或いは小学校に、各男女合わせて6名を配置する といったような班編成をしまして、その訓練も合わせて行ってきており ます。また、その地区のまちづくり協議会の役員の方との面談といいま すか、お話し合いをさせていただいたり、実行性のあるものに仕上げて いくといったような体制をとりました。</p> <p>それから今年予定しております、防災訓練ですが、各地区での防災避 難訓練も、活発に行っていただいています。避難所の運営マニュアル、 特に磯部地区は、坂井市全体でも福井県全体でも先進的な取り組みをし ていただいていますし、そちらへ勉強に行ってください、そういった取 り組みを市内に広げていくといったようなことをやっております。</p> <p>今年は市の防災訓練を9月29日に、市内全域対象ですが、特にメイ</p>

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(副市長)	<p>ンは大石地区で実施すると、それから10月下旬だったと思いますが、初めて内閣府の防災訓練に手をあげまして、特に津波対応の訓練を実施するというので三国地区をメインに対応していくといったようなことを今計画しております。</p> <p>また、先ほど説明がありました防災備蓄物資の充実といったものを併せてやっていきますし、特に能登の方では上下水道が大変な被害を受けてご苦労されているといったようなことも含めて、水の確保、或いはトイレの対応といったようなことを重点的に対応していくと、そんなことを今年の予算でまずスタートさせていくといったような対応をさせていただきます。</p>
		(委員)	<p>ありがとうございました。自分も今年能登にちょっと行った経験があって、下水の調査に行ったときに、避難所に行ったり、倒壊した現場に行ったりで、全然市の方が対応できない状況がずっと続いていました。そういったところで、先ほどお話しがあったように、避難訓練とか、そういったことを自分たちがやっていく必要があると改めて思いました。避難訓練であったり、そういったことはソフト面もハード面もそうですが、すごく充実されていると思うので、それは継続的にやった方がいいのかなと思いました。</p>
		(委員)	<p>資料3の6ページの人口の推移と将来予想なんですけれども、今ほど人口は減ってるのに、世帯数が増えている理由として、核家族化とか1人世帯が増えているってお話ありましたけれども、私は子ども・子育て会議に出ているんですが、「子育てするなら坂井市」っていうこういうPR雑誌が出ていますけれども、これを少しく取り入れたここ1年の間に実感するようなことはあったのかなと、子育て支援が充実している坂井市を選んで引っ越して来ていますよっていうような家庭が少しはあるんでしょうか。</p>
		(副市長)	<p>先日の6月議会でも、議会の方でのいろんなご質問がある中の1つの大事なご質問でした。</p> <p>それは福井県へのUIJターンでどれだけの成果があるのかといったような分析の中身をご質問されたのですが、県の発表としては、年間で千五、六百人こちらへ来ていただいていると言ったようなご説明があったと思います。</p> <p>そのうち坂井市が、2番目か3番目に多く帰って来ていただいているといったような分析内容だったと思っています。</p> <p>それは池田市長の前の坂本市長るときから、子育て支援にずいぶん力を入れて、子育て支援応援券の発行であるとか、重ねてきているといったことも基本的にあると思うんですが、特に池田市長になりましてから、今委員がおっしゃったようなところへ重点的な施策の方を図ってきていますので、それらの影響といたしますか、いい面の影響が非常に出てきているなあといったようなお声を聞いています。</p>

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(委員)	<p>2点だけ質問させていただきます。</p> <p>私、社会福祉協議会の方で市のシニアクラブの事務局を請負ってしまして、そこでシニアクラブの方のいろいろ話を聞いていると、今シニアクラブの活動拠点として坂井市は志遊館ですかね、老人センターがありますし、春江にもあるんですが、これが非常に老朽化していて、建て直すほどのこともないし、ゆくゆくはいらなくなるから、壊すだろうと、壊さなければならないだろうと思うんですけど。そこを実際に使っている人の意見を聞くと、やっぱりその代わって言うよりもこれをもう少し長く使える、いや、要するに高齢者の居場所をちゃんと確保して欲しい、健康のまちづくりの中に居場所づくりって非常に大切だと思うので、この春江と坂井の二つの老人センターの建物、今後どういう形で伸ばしていくのか、何か今後の案があるのかどうかっていうことが一つです。</p> <p>あと、今非常に勉強になりましたのがこの財政のことで家計に例えて色々説明していただいて非常に分かりやすかったので、非常に勉強になりました。</p> <p>それからもう一つのところで、子育てですが、実は先日、私文化協会の事務局も担当させてもらってまして、主催して子供文化祭を2日間に分けてやりました。お隣の春江中学校の書道部の方も出ていただきましたし、三国中学校の太鼓も出ていただいたんですけども、出ていただいた子供さんは、ほとんどバレエであったり太鼓であったり書道であったり、或いはチアダンスだったり、学校の部活以外のいわゆる文教の課外活動になるのでしょうか、指導者が色々やっているんですね。2日間とも本当にたくさんの人に来ていただいて、坂井市の子供はこんなにたくさんいるのかなっていう、イメージを持ちました。</p> <p>それで、子育てしていく場合にね、例えば坂井中学校とか春江中学校、坂井高校とか、今でも、それはいい成績を残していますが強かったところ、時にはいろんな市町からそれを目指して、坂井高校なりに進学してくる子がいたっていうこともあると思うので、坂井市に住めば、いろんな文化的な活動が、子供さんの夢がかなう。例えば丸岡中学校の方に、司会者をお願いしたんですが、「将来アナウンサーになりたいの？」って聞いたら、照れくさそうに「うん」とか言っていたこともありまして、ソフト面で「子供たちの夢がかなうまち坂井」っていうのを何かのテーマにさせていただくと、子育てのために坂井市に住むというような方も増えてくるんじゃないかなっていう気がします。</p> <p>特に今、子供文化祭をやって感じたのは、本当にたくさんいろんな趣味も花もお茶もそれから今言ったようにチアダンスからバレエからいろんな趣味を持っていて、それらをサポートする人材が今ならまだ坂井市にはいるのかなというようなことがあって、福井市の方からもその教室で来られる方もいらっしやったので、これは文化課と色々話しながらやっているんですけど、そこがもう一つ、住みやすい坂井市を作っていく上で、一つのポイントになるんじゃないかなと思いましたので、ちょっとご参考までに話させていただきました。</p>
-----------------------------	------------------	------	---

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(副市長)	<p>はい、今、委員からのご質問で社会福祉協議会の方で運営していただいている、高齢の方が集える施設として春江と坂井に施設が2ヶ所あります。いずれも老朽化していて、今後どうしていくんだといったようなお話だと思います。</p> <p>合併しまして、市が抱えている公共施設というのは、旧4町をそれぞれ持っていたものを一緒に維持管理をしてきてるわけですが、冒頭市長の方からもお話ありましたこれから人口減少で、利用される方も減っていく、それから税収の面、財政面でも縮小していく、それから併せて行政を支えている職員の数も、当然減らしていかないといけないといったような環境がもう見えてきているわけですね。それで、公共施設に関して、総合管理計画というのを作成しているわけです。よく似た性質のものについては、一緒にできないか、或いはそれぞれ旧4町単位で整備されていたものが、今後そのまま維持していけるんだらうかといったような考え方で、すぐには統合したり、廃止したりっていうことは、なかなか難しいわけですが、市民の皆さんのサービスを確保しながら、違った面で、どんな方法で、そういった確保ができないかといったようなことを併せて考えながら、できたら施設を縮小していきたいというのが基本的な坂井市の考え方でございます。</p> <p>市が本当にそのサービスを維持していかなければならない、施設の目的、設置目的のものであるのか、民間の施設を利用して、そういったものを振り替えて、利用していただけるようなものにできないかといったようなことを併せて考えていく必要があるなということで、今、引き続きこの行政改革推進協議会に合わせて、本部会議の方では、大綱の策定とあわせて、公共施設の総合管理計画の見直しというものを行ってきております。</p> <p>今、委員からご質問がありました老人センター、社会福祉協議会との関連で市からも維持管理に財源的な応援をさせていただいているといったものもございまして、併せてその辺の検討をしてきているといったような状況でございます。</p> <p>もう少し具体的な方向というのは、社会福祉協議会や利用いただいているシニアクラブの方のご理解をいただきながら進めていくということが必要ですので、その辺、具体的な、また協議の場等を設けさせていただきながら、その先の方針を決めていきたいなど、そのような状況でございます。</p> <p>回答になっているかどうか、申し訳ありませんが、現状そういったところでございます。</p>
		(委員)	<p>2点お聞きしたいことがあります。</p> <p>1点目は最初に質問がありました防災関係、災害のことなんです、やはり先ほども話が出ましたように1月に能登の地震がありまして、そういった形の中でやはり福井も坂井市もだんだんと自分たちも身近に感じて、防災訓練とか、自分の地元の方でも、今年からやっというろんな市民も入りながらもやっという計画も出されたりとかして、</p>

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	<p>(委員)</p> <p>坂井市は全体として色々動いているんだなっていうのは分かるんですが、計画の中にもありますが、この重点施策予算の中で、防災事業に関しての予算として今掲げられているのが 17,732 千円っていう形で上がってしまっていて、今までちゃんと備蓄であるとか、色々な地区でのそういった対策がもう進まれている中で、今後防災訓練とか、市民生活道路での防災ベンチであったりとかいろんなことをこれからしていくというのですが、それにしては予算が自分のちょっと感じたところによると 1,700 万とこの坂井市全体の部分でどこまでどういうふうな形で見られているのかなっていうのがちょっと不安でした。後、実際起こった場合に、財源とかはどういったところから、国からも、緊急対策で何か色々出ているんだと思うんですけど、予備費が、先ほどの中で 1,000 万ですかね、その中身がちょっと、すいません無知なのでわからないので教えていただきたいなっていうのが 1 点あります。</p> <p>もう 1 点が、先ほど子育て支援関係で結構、人口増に関して色々取り組まれている、色々な情報を見させていただくと、結婚応援サポートセンターであったりとか、あと、去年から縁結びですか、マッチングで色々な事業もされているのかなっていうふうに思うんですけど、確か新聞だったですかね、坂井市の事業であまり効果がなかったようなことが書いてあったかのように記憶にあるんですけど、反対に今年はそういう対策の部分でどういうふうな形でまた計画を見直されているのか、進めていくのか、また結婚サポートの方は、今年度から新しい部署ができたようなんですけど、今 4 月からまだ 3 ヶ月ぐらいなんですけど、それに対しての人口増をどういうふうな形で見られているのか、何か計画が分かりましたら教えていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>	<p>(副市長)</p> <p>まず、防災関係の予算について、先ほどの資料の 4 ページで、今委員のご指摘ありました総合計画の重点施策の予算の中の、一番右下のですね、防災の備蓄物資関係 17,732 千円、これだけだと本当に大丈夫なのかというご心配だと思います。一般会計の中での危機管理対策課所管のものがここに掲げられていますが、その下へいきますと木造住宅の耐震化促進の都市計画課の 980 万余りとか、ここには上がってきていない上下水道の企業会計の中で、下水道管水道管などの耐震化の工事にですね、合わせて進めてきているといったこととか、一般会計じゃない分野での対応している部分がここには表されていないので、その辺を総括して、6 年度当初予算でどれぐらいっていうのを、また改めてお知らせできるように、ちょっとまとめて行きたいなと思っています。</p> <p>それから報道もされていると思うんですが、中学校の体育館の空調関係を整備することが予算化されていまして、7 年度までに 5 校分整備したいといったようなことを今、併せてやってきております。その辺の将来的な予算の見込みといったものも今準備していこうとしていますので、その辺のことも併せてお知らせさせていただきたいと思います。</p>

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(財務部長)	<p>今ほどご質問がありました移住定住とか結婚とか、空き家対策とかというところで、人口減少対策を進めてきていると、先ほどのご説明の中で結婚なんかにつきましては、新しいメンター制度という形で、相談をそこで一元的に行えるような人材づくりというようなところを今年度取り組みを今から始めるところでございます。</p> <p>また、新聞報道であったちょっと成婚になかなか至ってないとか、そういったところはまだ結婚応援課ができて1年というところで、成果というのは難しいところもありますが、その辺りも今後動向を見ながら、アフターフォローとかアフター調査などを今後とっていきながらやっていくというところで、所管部局のものがここにいないので、明確な回答というのはちょっとできないところで申し訳ないんですが、そういったような取り組みを本年度していくというところでございます。</p>
		(委員)	<p>一般会計の歳入の市税の内訳みたいのがありますでしょうか。企業別であるとか、産業別、どういったところから、市税、法人税、そういったものが、収入の元となる産業はどこなのかなあと、坂井市のイメージではいろんな産業がありますが、実際お金として、どこが、どこに利益があるのかなということを知りたいです。</p> <p>それを知ることによって、より収入があるところを伸ばそうとすれば、市税がこれから落ちていくのは仕方ないとして、維持していくことができるのかなと思います。一つの収入から歳出、その流れがちゃんとサイクルができていくのかなというところをちょっと確認したいなというふうに思います。</p>
		(財務部長)	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>市税の中で、今おっしゃるのは多分、法人住民税というところで、均等割と法人税割ってというのがございます。法人税割につきましては、かなりその企業実績の年度差が激しくございまして、坂井市で言いますとテクノポートに大きな企業が多いことから、特にそちらの方の法人税で、影響をかなり受けているというのが現実でございます。ただ、今、法人税の多い少ないっていうのをリスト化しながら様子は見ているのですが、産業別についての分析はしていないので、そういうご意見を今後の参考にさせていただきたいと思います。</p>
		(桑原会長)	<p>私から1点お伺いしたいんですが、5ページの基金の状況のところ、令和5年のところで特定目的基金というのが比較的大きくなっているかと思えます。先ほどのご説明では、三国ボートからの収益金を主として、まちづくり整備基金などに使われるということなんですが、平成29年ぐらいから見るとすごく乱高下じゃないですけども、あんまり安定的ではないんですが何か理由があるのかと、また、令和6年度の見込みも、特定目的基金としては少なくなっているかと思えますが、何かあるのでしょうか。</p>

II 協 議 事 項 等	4.坂井市の予 算について	(財政課長)	<p>今ほどの基金の状況でございますけども、令和6年は予算ベースで表しております、例年この競艇事業収益ですが、その年度途中にその年度の競艇事業の収益を見込みまして、坂井市の一般会計の方への繰り出しが行われております関係で、6年度当初予算では、6年度の競艇事業収益の見通しがまだございませんので、ここは小さい数字になっております。例年、競艇事業収益が競艇事業の方から一定の収益がございます関係で、ここの特定目的基金のところが大きく金額が積み上がっているという状況ですが、積み上がっている一方で、このまちづくり整備基金の方も、いろんな事業に充当しております関係で、相当の取り崩し額がございます。</p> <p>例えば5年度は40億円の競艇事業収益の繰入ございましたが、令和6年度では28億円の取り崩しを行っているという状況ですので、競艇事業収益の財源としては坂井市としては非常に大きな財源となっております一方で、経費としても、それが充当されているというような状況でございます。令和6年度については、競艇事業収益は年度途中での繰り入れる収益がございましたら、途中での繰り入れとなります関係で、ここの表のところでは、このような形になっております。</p>
		(桑原会長)	100%三国ボートからってということなんですね。
		(財政課長)	特定目的基金は他にも色々ございまして、特に大きいのが今言いました競艇事業収益のまちづくり整備基金と、あと、ふるさと納税の寄附ですね。寄附市民参画金こちらの方が大きな金額になっております。
		(桑原会長)	ふるさと納税が大幅に令和5年だけを大きく伸びたってということはないんですね。
		(財政課長)	ふるさと納税の方は、最近ですが14億から15億の間で推移しております、一定程度の収入がございます。特にこの5年度が、大きく伸びているのは、今言いましたふるさと納税の方よりもこの競艇事業収益のまちづくり整備基金の積み上がりが必要な要因となっております。

II 協 議 事 項 等	5.坂井市行政 改革の取り組 み状況につい て	(桑原会長)	それでは、続きまして、協議事項等の 5 坂井市行政改革の取り組み状況について、事務局から説明をお願いします。
		(事務局)	【資料4】に基づき説明
		(桑原会長)	それでは、只今のご説明に関しまして、皆様の方からご質問、もしくはご意見ございましたらお願いいたします。
		(桑原会長)	6 ページの方に、ちょっと小さいところになりましたが、有料広告の募集というところですが、これは利益が見込めないという回答をいただいているけれども、別の広告主の募集強化をしますよということなんでしょうか。
		(総務部次長)	広告代理店を経由しますと、手数料等がかかりますので、そういった意味で利益が見込めないというか、利益幅が少ないということで、直接広告主にこちらからアプローチした方がより良いのではないかと。代理店からの話ってというのがなかったこともありまして、直接アプローチをしたほうがいいんじゃないかということでございます。
		(桑原会長)	広告代理店を経由して広告を募集するというのをやめますっていうことですね。
		(総務部次長)	はい。
		(桑原会長)	分かりました。あとは、同じページの中でも、地域づくりですか、地域づくり活動に対する支援ということなんですけれども、新規で取り組む支援というものが、もし具体的に何か決まっていることがありましたら教えていただけますか。
		(総務部次長)	各地区へ募集をいたしまして、その地区で自主的に取り組むことについて、支援をすると、その経費とかそういうものを支援して、よりその地域で取り組んでいただけるように、そういう支援を始めたということでございます。 8 地区だったかなと思うんですけど、今後自分たちでやっていくということで取り組むこととしております。
		(桑原会長)	イメージとしては何か人的な支援をなさるのかなと思ったので、何かそういうサポートであるとかっていうことを想定したというわけではないんですか。
(総務部次長)	あくまでもその地域、地域というか集落単位でもいいんですけど、その集落で自主的にやるということで、当然アドバイスとか、そういうことはさせていただくことはやぶさかではないんですが、あくまでも自主		

II 協 議 事 項 等	5.坂井市行政 改革の取り組 み状況につい て	(総務部次長)	的にその地域で考えて取り組んでいただくということをメインにして おります。
		(桑原会長)	継続的にそれくらいの地区からは手が挙がるということですね。
		(総務部次長)	今年度初めてやる取り組みですので、来年度以降も当然募集という か、やる気のあるところには当然支援をしていきたいというふうに考え ております。
		(桑原会長)	他の自治体ではこう手が挙がらないので、それをどうやって機運を醸 成していくのかというので、人を送り込んでというようなところを見て いましたので、そういった心配はなさそうだなという感じですね。
		(委員)	今の話の部分なんですけど、私丸岡の城のまちの方で、昨年6つのプ ロジェクトを立ち上げまして、そのうちの一つに自分が携わっているん ですが、一般市民も巻き込みながら、丸岡城に行くメイン道路を整備し ようというか、皆、色々な意見をいただいていたので、本当にメイン通 りといえども、全然メイン通りの整備もなされていないところもある んですけど、今のお話を聞くと、そこのそういった6つのプロジェク ト、空き家プロジェクトとか色々あるんですけど、それに対しての、ど うしてもお金のかかることに関して、特別予算で何かいただけるってこ と、申請をすればできるってことなんですか。ごめんなさいちょっと個 人的な部分で、今ちょうど自分が携わってるので。センター長から聞い ているのは、まちづくり協議会の方にお金が幾らか出る、その中からち ょっと捻出するよみたいなことを言われているんですけど、今のお話を 聞くと、別のプロジェクトの中で、そういった形の支援がいただけるっ ていうことでの理解でよろしいですか。ちょっとこの委員とは関係ない んですが、ちょっと携わっていたので、お聞きしたかったんです。
(総務部次長)	地域課題というか、そういうのを解決していくというそういう集落の 人達の考え方というか、もっと大きく言いますと、まち協単位でいうと ちょっと広いのかもわかりませんが、そういった地域で解決できるこ とを、自分たちでできることについて支援をするということなので。今 の整備とか、そういう話になるとまたそれは別の話であって、まち協の 中でやっている中で言いますと、事務的な費用とかそういうのはまち協 の予算の中でやっていただければ構わないという話じゃないかなとい うふうに思います。		
(委員)	14番の小学校のプールのことなんですけれども、方針変更というこ とになっていますが、先日もあるところの小学校が学校のプールが使え なくて中学校へ行って、中学校のプールで溺れたみたいな事故があった というような話を聞いているんですけれども、各学校も小学校のプール		

II 協 議 事 項 等	5.坂井市行政 改革の取り組 み状況につい て	(委員)	ってかなり以前から老朽化されていて、何とかしないといけないって いうふうな話になっていたと思うんですが、この方針変更っていうのはど んなふうな形の方針変更っていうようなことになっているんでしょうか。
		(総務部次長)	学校プールも今言われるように老朽化が進んでいまして、いずれも新 しくしたり、直していこうという方針だったと思うんですけども、余り にも生徒の数、児童の数が減るということで、民間のB&Gとかそうい うところでプールの授業をしていくという方向に変換をしたというこ とであるというふうに考えております。
		(委員)	そうすると学校から民間のところへ移動する、その移動手段とかそう いうふうなことはどうなっているのでしょうか。
		(財政課長)	今申し上げました民間のプール施設を利用する場合は、民間の送迎バ スが利用できる場合は、そちらの方でお願いしますし、できない場合は こちらの方からバスを出して送迎するというような計画で、今使えるプ ールについては、継続して使っていきますけれども、新たに整備するで あるとかっていうところは今のところ考えてないという状況です。
		(委員)	今現在小学校の皆さん、どこの学校もプールの授業はされているんで しょうか。昔は必ず学校の方でプールの授業があって、水着とか持って いたことがあると思うんですけども、今もそういうふうな体育の授業 で、やっぱり移動してされているんですか。これから夏休みの時になん か開くとかっていうようなこともあると思うんですけども。
		(財政課長)	小学校については、プール学習は継続して行っておりまして、今まで ですと、各学校のプールが必ず使えるような状況で整備されていて、夏 にプール学習をしておりました。今、小学校のプールが使えない状況の 場合、民間のところを利用するというような運用をしておりますけれど も、必ずしも夏だけでなくもう少し夏を中心に幅を持たせた期間での プール学習というのは今も継続して実施しております。
(委員)	最近の夏場は、なかなかプールが使えない、この暑さで使えない状況 があるということで、なかなかプールしたくてもできない。特に僕らが 小さいときは夏休みずっと毎日通っていた子供たちがいて、その学校に あることで歩いて通っていた。でも今はもう違うところにあって行けな いっていうそういう問題も出てくるのかなっていうのが一つあって。 もう一つは、夏場の暑さで使えない。だからそういった対応もちょっ と今後考え、室内でする場合は問題ないと思うんですけど、今あるプ ールの中でも、例えば、夏場でも使えるような日陰を作ったりとか、そ ういったことが今後できるのかなと。昔は心配することがなかったん ですけど、今は授業でもできないし、もちろんコロナ禍でできなかった っていうのもありますけど、なかなかそういったプール学習っていうのが、		

II 協 議 事 項 等	5.坂井市行政 改革の取り組 み状況につい て	(委員) (総務部次長)	<p>やりたくてもできない、自由にできないのがあるのかなっていうのはちょっとPTA側としては、そういった意見が色々出てました。その辺についてもご検討いただきたいなと思っております。</p> <p>プール学習につきましては、県からの指導、国からの指導等がありまして、なかなか授業に取り組めない部分が多いです。それを引き続いて夏休みとかで、その基準に基づいてやってる部分がありますので、今言われるように、日陰作ったりそういうことで対応できるのであれば、やれないことはないのかなと思いますので、今のご意見を教育委員会の方にお伝えさせていただきますのでよろしくお願いします。</p>
	6.今後の坂井 市の行政改 革について	(桑原会長) (事務局) (桑原会長) (桑原会長) (副市長)	<p>それでは、続きまして、協議事項等の 3 今後の坂井市の行政改革について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【資料5】に基づき説明</p> <p>それでは、ただいまの説明に対しまして、皆様のほうから質問、またはご意見等いただければお願いしたいと思います。</p> <p>7 ページにあります市役所業務のDXにつきまして、今現在、こういったところで、DXを取り入れておられるのか、今までの中での業務改善などがございましたら教えていただけますでしょうか。</p> <p>現在、市役所DXは重点的な窓口の改革が一つ大きな柱です。それからもう一つは、情報発信ということで、市役所、対外的にどんな発信の仕方をしていくかといったようなことに、大きく取り組んできています。</p> <p>窓口改革の方では、各種証明書のオンライン請求ということで、コンビニ交付の活用ができるような、或いはマイナンバーカードを使って、市役所においでにならなくても、身近なコンビニでいろんなものが取り寄せられるといったようなものでございます。今年の4月から6月までの利用実績としまして、税証明関係で13件、戸籍住民票などで28件合わせて41件というような数字になっていまして、今年の2月に運用開始をしております。マイナンバーカードを使って24時間いつでもどこでも申請ができて、オンライン決済、お金の支払いまでできるということで、それは福井県内で唯一今坂井市がスタートを最初にしたといったようなものでございます。</p> <p>3ヶ月で41件ということで、まだ数はそれほどではないんですが、市役所においでいただかなくても、そういった活用ができるといったことで、少しずつ便利になってるといったようなことです。今後は証明書のオンライン請求ができる種類を拡大していこうといったような準備をして進めていこうとしています。</p> <p>もう一つは、ご家族サポート窓口として、よりサポという名称を使っ</p>

II 協議事項等	6. 今後の坂井市の行政改革について	<p>(副市長)</p>	<p>ているんですが、ご家族が亡くなられた時に、色々短期的に手続きをしないといけないといったようなことを、あらかじめその届けにこられたときに、短時間でいろいろ相談できるといったようなものを準備いたしました。今年の5月に運用を開始しまして、5月、6月で利用件数は24件ご利用いただいています。平均滞在時間がお一方28分で関係手続きを完了できるといったようなことで、非常にご好評をいただいております。お亡くなりになる届け出は、月90件ほど実績としてあるんですが、その中で、届けに来られたときに、次の相談予約をQRコードでできるというようなことをご紹介して、改めて次おいでくださったときには28分ほどで必要な手続きを完了できるといったような実績がございます。</p> <p>それから、今後は、出生手続きにおける業務フローの見直しでありますとか、マイナンバーカードを活用した特例転入における住民情報の共有といったような基本4情報を使って、身近に活用できるようなそういう窓口の改革をしていこうと準備を進めてきております。</p> <p>それから情報発信の関係では、市役所のホームページの中にLINEの公式アカウントを活用して、いろいろ利用できる方の利便性を高めるといったようなことで、令和5年の1月から運用開始しておりますが、現時点で登録していただいている方が約8,800人おいでとなっております。例えば道路破損に関する通報が、即座に写真と位置情報を合わせていただけたり、市道上の動物の死骸に関する情報をいただけたり、災害の通報をいただけているといったようなこと。それから、イータクの停留所の検索であるとか、コミュニティセンターの場所の検索、資源ごみの回収場所の検索といったようなこと、それから防災メールの連携、或いは自治会サポの連携といったものがご利用いただけるようになっていきます。</p> <p>また、情報発信の研修会なんかも合わせて実施させていただいております。使いやすいようなご説明を地元の集会所でさせていただいたり、先ほどお話があったシニアクラブの集まっておられるところへ出かけていって、そのLINEを使いやすいように登録していただけるような説明会を合わせて行わせていただいたりといったようなことを、やっています。</p> <p>これらのDX関係の技術推進本部も毎月1回必ず実施して、その進捗度合いを確認してきております。</p> <p>簡単なご説明ですが、以上でございます。</p>
		<p>(桑原会長)</p>	<p>市民サービスのDXはよく分かったんですけども、市役所業務の職員さんの中のDXとしてはどういったものがあるのでしょうか。</p>
		<p>(財務部長)</p>	<p>市民サービスのDXを進めることで市役所の内部事務も申請等がデータで入ってきますので、今までは紙ベースの情報を手入力してたものがすぐ作業できる、そういったようなところはすごく効率化が図られているというところでございます。</p>

II 協議事項等	6. 今後の坂井市の行政改革について	<p>(財務部長)</p> <p>それ以外にも資料の方にもありますが、RPA、自動的にパソコンが仕事をしてくれるというような作業仕組みも大分入れておまして、かなり職員の中でも使える職員が増えてきました。これによって何千時間というようなところの削減が今図られてきているところです。</p> <p>あと防災DXというところで、総合防災システムというのがありまして、職員のスマホにもこのシステムが入っておりまして、例えば最近ですと、去年の7月の豪雨があった時に、現場に行った写真をその職員が位置情報と一緒にこの川が今こんな状況ですというのを投稿し、今ちょうどこの部屋が災害本部室なんですけど、このモニターに映して、災害対策本部の中でそれを映し出しながら検討ができるというようなシステムをすでに確立しています。このあたりはまた県との連携など今後充実していくのかなと思っています。</p> <p>それ以外ですと、封入封函機というのがありまして、データを流し込むと印刷をして、折り畳んで封筒に入れて、宛名をつけて、もうでき上がっているというような機械があります。機械力が主なものですけど、こういったところも、今までですと、印刷業者に出したり、職員が印刷を掛けたものを折り畳んで、封筒に入れて、宛名シールを貼ってテープを貼るみたいな、そんな作業がかなり効率化されているというところが、主なものです。</p> <p>また、今、副市長の方も使ってますが、タブレットとか、あと課長の方で使ってるようなモバイルのノートパソコンとか、そういったようなものも全部こういう無線化しまして、どこへ行っても使えるようにして、ペーパーレスを進めているというようなところもございます。</p>	
		<p>(委員)</p> <p>一つお聞きしたいことがあります。</p> <p>働き方改革の推進のところに、テレワーク等の多様な働き方を推進し、職員のやりがい、働きがいの向上の中でテレワーク等ってありますが、今どこの企業も取り入れたりしてやっているとは思んですけど、市役所となるとやはりいろんな個人情報であったりとか、機密情報的なものも色々含まれてくるかと思うんですけど、そういったところのセキュリティ関係とか、やはりここから持ち込み、外に出して、何か作業するっていう場合の、そういったところの費用的な部分とかもしっかりと盛り込まれているのでしょうか。なかなか企業でも、大手さんなんかは在宅であったりとか取り入れているんですけど、やはり中小企業になると、そういったところで悩むところもありまして、そういう話も聞いたりとかしてましたので、坂井市としてどういうふうな形で、市役所以外でテレワークとなると、違うところの場所でやったりとか、在宅もそうですし、家の環境であったりとか、そういったところも整備が必要なのかなって思うんですけど。そういったところはもうどういうふうな形で取り入れられているのかなと。あと、先ほどの効果額の中にワークライフバランスの推進で、1億7,000万近く効果額と書いてあったので、すごいことなんだろうなと思ったんですけど、ちょっと疑問がありましたので、教えていただければなと思います。</p>	

II 協 議 事 項 等	6.今後の坂井市の行政改革について	(財務部長)	<p>テレワーク等の坂井市の現状をちょっと最初にお話させていただきますと、テレワークのパソコンを、市の方で用意しております、全体で20台ぐらい用意してあります。</p> <p>職員が自宅に持って帰って、そこで市役所の机に座っているような状況の画面が出てるといようなところ。ただ、セキュリティ的には、その画面から、直接市役所のサーバを見ているわけじゃなくて、間にもう一つパソコンを入れて、セキュリティを担保しているというような、ちょっと説明が難しいので申し訳ないんですけど、そういう状況です。テレワークにつきましては、最初の頃はなかなか利用がなかったんですが、最近は皆さんも慣れてきたというところもあって、積極的に使っています。例えばコロナ等で、1週間ほど休む時に、体の症状はたいしたことはないけれど、自宅療養の必要がある場合にテレワークがすごく活躍して、作業がそれで止まらず、仕事が止まらなかったということが現実的にはありました。</p> <p>コロナの経過、経緯があって慣れたということで、今は20台のパソコンが、頻繁に出払ってるといのか、そんな状況がございます。</p> <p>このシステムについては、県のシステムにちょっと相乗りさせてもらっていますので、費用的にはそこまで高くはない費用で今運用できています。</p> <p>今後もっとテレワークが進んでいって、いろんな職員がかなりの数になってきた場合には、ちょっと仕組みは今のままでは無理かなと思っておりますので、そういうところはまた、こういった形がいいのか、Microsoft365 っていう新しい技術もあって、それですとまた自宅とかからでもできるというような技術もございますので、そういったものの活用も、今年度からまた少し、導入しながら考えていっているという、考えて行こうとしているところでございます。</p>
	(委員)	<p>皆さん職員が持ってらっしゃるそのパソコンを自宅に持って帰ってやっているのかなと思っていたので、そうするとそれぞれにセキュリティ対策は大変だなと、そうじゃなくって、別にそういった、機械でそれを持ち出しているという形なんですね。</p>	
	(財務部長)	<p>一番最初の大元のお話から言いますと、職員の持っているパソコンは、情報系のパソコンっていう、一般の職員が使うものと、基幹系と言いまして、住民基本データだとか税だとか、福祉のデータとかそれはもう完璧に別に分かれています。私たち財務部の職員は、基本的には住民データとかそういうのは見ることはできません。業務で携わっている職員しか見れないので、まずもってそこで分かっていると、その情報系のパソコンを、またパソコンを分けて、テレワークしているということで、かなりセキュリティとしては、担保していると考えています。</p>	
	(財政課長)	<p>ワークライフバランスの推進のところの効果額でございますけども、こちらの算出ですが、これは時間外削減効果額というものを出力して</p>	

II 協 議 事 項 等	6.今後の坂井市の行政改革について	(財政課長)	<p>ます。ワークライフバランスの推進ということで、安心して出産子育てをすること、子育てをすることができる職場環境の整備であるとか、今坂井市取り組んでおりますイクボス事業とか、ノー残業デーの徹底、あとゆう活といいまして、夏季の期間に早く仕事に出てきて、早く終わるといった取り組み、そういったところの取り組みで時間外の削減効果を図った効果額が1億7,000万円というふうに算出しております。</p>
		(委員)	<p>ありがとうございました。通ったりすると遅くまでやっている部署とかもあるみたいだったので、そこが今反対にDX利用したことによっての色々な削減ができていっているということがよく分かりました。</p>
		(委員)	<p>時代と逆行するかもですが、DX化することで、すごく若い、僕らもそうなんです、オンライン化で全部処理できてすごく便利だと思っ ているんですが、例えば、僕らの上の世代の人は全然そんな触れない人達がいる中で、そういったことに対して、先ほど説明会をされているとかあったと思います。そういった人たちが取り残されてしまうことが起きないように、何かやっていく必要があるのではないかと。将来的にはそれをやっていくことはすごく大切だと思うんですけど、例えば災害起きても、そういうことが使えないから、できないとか登録申請できないと、そういったことが出ることもあるんじゃないかなと思っています。すごくいいことだと思うんですが、そういったことも含めて今後何か考えていく必要があるかなと思います。いろんな業務においてそう思うんですけど、また一度検討といいますか、そういう方もいるかなと話を聞いていて思いました。</p>
(財務部長)	<p>委員おっしゃる通りでありまして、色々業務を進めていく、特にDXを進めていく中では、その二重化というか、そういうところはいつも議会等でもよく質問されるご意見でして、そういう人たちをどうしていくんだと、そういったところで例えばスマホであれば、スマホの教室であったり、市が提供するアプリの使い方であったりとかそういうところは、職員なり、関連団体の方からまたいろんな話をさせていただいたりというところで、推進はして行っております。</p> <p>当然、オンライン申請ができるけど、もう窓口では一切受け付けませんよということはありませんので、そういったところは当然ながら対応していく、ちょっと過渡期であるかなと思いますし、ただ民間の中でだんだんもうこれでしかできませんよになってきているので、そういうタイミングが来るのかもしれませんが、今は従来通りの部分と、DXを進められるところを一生懸命進めて行くという、ちょっと二重化の部分ではあるかなと思います。おっしゃる通り、本当に大事な視点だと思っています。</p>		
(委員)	<p>顔を合わせることで、できることっていろいろあるじゃないですか。例えば顔を出していくことで、違うことを聞けるとか。その信頼関係じ</p>		

	6.今後の坂井市の行政改革について	<p>(委員)</p> <p>(財務部長)</p>	<p>やないですけど、そういったことが生まれる部分もあるかなと思って、今電話で言っても、オンライン化でこのボタンを押してくださいとか、そういう企業ばかりで、そうなるともう次電話したくなくなるとか、なかなか意見も言えなくなってということが結構ある。行政はなかなか大変で難しいとは思うんですけど。</p> <p>本当におっしゃる通りで、ただ市としては今ももちろんそういう推進をしながら、ある程度スリム化していかなくちゃいけない。作業効率を高めていなければいけないというのが、どちらかというところ、今私たちがやっている仕事はそちらサイドの仕事ですが。今後そういったようなところを、坂井市では、ここサポであるとか福祉施策の広い窓口、どここの窓口に行っても、全体的につなげますよという体制もとっておりますし、一面では、人と人の顔というか、心と心の信頼というか、そういうところも注意しながらやってきておりますので、そういったところもまた活用していくことになろうかなと思っております。</p>
Ⅲ 閉 会	閉 会	<p>(桑原会長)</p> <p>(財政課長)</p>	<p>その他、全体を通してでも結構ですけども、何かございますでしょうか。</p> <p>よろしいようでしたら、本日は以上をもちまして協議事項終了したいと思います。進行のほう、事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>皆様ありがとうございました。本日の会議内容につきましては、会議録を作成しまして、委員の皆様にご確認をいただいた後に、坂井市のホームページ等で公表させていただきたいと思っております。</p> <p>また次回の協議会についてですが、開催は10月頃を予定しております。詳細な日程については、後日、再度お知らせしたいと思っております。</p> <p>それでは以上をもちまして、第1回坂井市行政改革推進協議会を終了させていただきます。長き時間にわたりありがとうございました。</p>